

# 反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	4年度予算額	5年度予算案	増▲減額	反映額
国土交通省	(33) 国土地理院におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取組	本省	—	8,608の内数	8,666の内数	58の内数	—
事案の概要	国土地理院は、測量と地理空間情報をつかさどる我が国唯一の機関である。「測量法」を所掌し、法の目的（測量の重複の排除と正確さの確保）に則って、国の基本となる基本測量を自ら実施し、電子基準点等を全国に整備し位置の基準を構築するほか、地図作成によって我が国の領土の姿を明示するなど、国土の管理・保全に必要な基本情報を整備・維持している。 国土地理院では、事業部門ごとの縦割り（サイロ化）によって組織横断的にデータを有効活用できていない弊害や既存システムが複雑化する等技術的負債も抱えており、既存の資源を再構成、再配置、再利用しなければ、多くの利益機会を失うおそれがある。本調査では、デジタルトランスフォーメーション（DX）の取組を通じて、国土地理院がより機動的で柔軟（アジャイル）な組織として機能することを目指す。						

## 調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

### 1. DXの推進体制等について

変革の必要性を十分に認識されていないなど多くの利益機会を失う可能性が高いことから、業務プロセスの「見える化」を進め「顧客接点」をどのように活用し顧客満足度を与えるか検討するとともに、積極的な消費行動へユーザーを促す等の取組も推進すべき。

### 2. 電子基準点の維持管理・更新について

電子基準点全体として、データを活用した維持管理・更新コスト（含故障リスク）の将来見通しを立てたものはないため、IoTやAIを用いて設備の不具合や故障の兆候を事前に「予知」し部品を交換・修理する概念実証を実施し、点検等効率化のみならず安全性の向上も実現していくべき。

### 3. 顧客視点に立った行政手続の最適化について

政府デジタル臨時行政調査会の方針に則り、行政手続を含む地理空間情報ライブラリー利活用の一連の流れを一貫してデジタル完結させるとともに、個人や企業による新たな付加価値の創出に貢献するべき。

## 反映の内容等

### 1. DXの推進体制等について

国土地理院が組織としての価値の持続的向上を目指す取組として、組織内の業務プロセスの再設計を行い、利用者が求めるサービス提供の最適な手法について調査、検討等を進めていく。

### 2. 電子基準点の維持管理・更新について

効率的なメンテナンスを可能にするため、電子基準点構成機器の遠隔監視を実現するソフトウェアの開発やバッテリー等の監視装置の導入等について検証を順次進めていく。

### 3. 顧客視点に立った行政手続の最適化について

地理空間情報ライブラリーにおける一連のユーザー体験（User Experience: UX）を総合的に見直し、ユーザーストーリーに合わせ一貫してデジタル完結されたサービスを提供できるよう、サービス運営の継続性を確保しつつ、UX設計を行う。設計されたUXに合わせた業務プロセス改革及び持続可能な運営が可能な方策を立案する。